

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2016年14週 (4月1週 4/4~4/10)

2016年3月報

愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

インフルエンザ、流行性耳下腺炎、梅毒、ジカウイルス感染症、集団かぜの発生

定点医療機関コメント

インフルエンザ、感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌感染症、流行性耳下腺炎、咽頭結膜熱等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(38)、腸管出血性大腸菌感染症(2)、A型肝炎(1)、アメーバ赤痢(2)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(2)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)、後天性免疫不全症候群(3)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(2)、侵襲性肺炎球菌感染症(1)、梅毒(3)

2016年3月報

定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

インフルエンザ(図1)【2月3日警報発令】

14週の定点当たり報告数は7.41、13週2,411人、14週1,445人(0.60倍)です。2015/2016シーズンに病原体定点等から寄せられた検体よりA型(AH1pdm09、AH3)及びB型(山形系統、ビクトリア系統)インフルエンザウイルスが検出されています。

【参考ページ】“インフルエンザ警報”を発令します!(2月3日発表)

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/27influ-keihou.html>

集団かぜによる学級閉鎖等の状況(名古屋市)

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-11-0-0-0-0-0-0.html>

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ_map_new.html

インフルエンザ情報ポータルサイト(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/index.html>

流行性耳下腺炎

14週の定点当たり報告数は0.41、13週83人、14週75人(0.90倍)です。

梅毒(図2)

2016年14週までの累積報告数(診断週集計)は44件(男31件、女13件)です。2015年14週までの累積報告数は14件(男12件、女2件)、2015年総報告数は122件(男92件、女30件)でした。

全国の2016年13週までの累積報告数は883件です(2015年総報告数は2,697件)。

【参考ページ】<注目すべき感染症>梅毒(感染症発生動向調査週報/国立感染症研究所感染症情報センター)

<http://www0.nih.go.jp/niid/idsc/idwr/IDWR2016/idwr2016-12.pdf>

ジカウイルス感染症について

【参考ページ】ジカウイルス感染症患者の発生について(厚生労働省、3月24日発表)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000117375.html>

ジカウイルス感染症患者の発生について(厚生労働省、3月11日発表)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000116028.html>

蚊媒介感染症の診療ガイドライン(第2版)について(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000115988.pdf>

渡航時におけるジカウイルス感染症への注意について(FORTH) <http://www.forth.go.jp/news/2016/01261317.html>

ジカウイルス感染症の届出基準・届出様式等 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

ジカウイルス感染症(ジカ熱)について(愛知県) <http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/zikavirusinfection.html>

集団かぜの発生(健康対策課発表)

発表日	管轄保健所	ネットあいち URL
4月11日	新城	集団かぜの発生について(2015-2016シーズン) http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/syudankaze2.html http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/ichiran.pdf

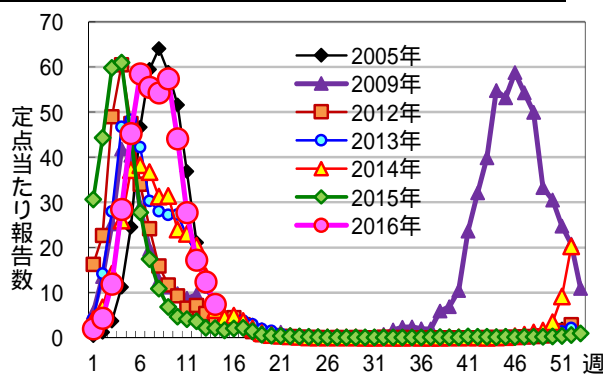


図1 インフルエンザ

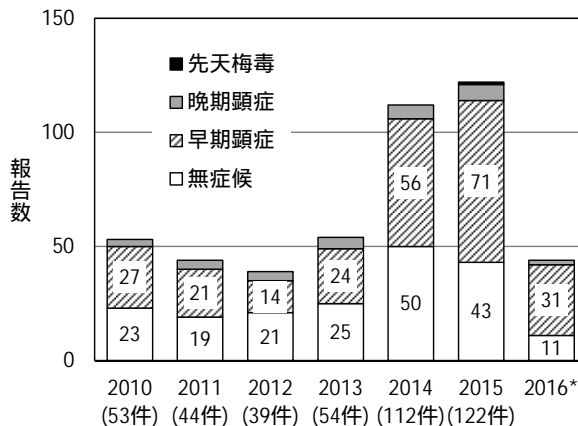


図2 梅毒の年別・病型別報告数(愛知県、診断週集計、*2016年は4月13日現在)

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

インフルエンザA型 1名

インフルエンザB型 7名

【稲沢市 愛知県厚生農業協同組合連合会稲沢厚生病院】

1～3歳 ロタウイルス腸炎 4例あり

インフルエンザは3例のみ

A型 1例 B型 2例

【一宮市 あさのこどもクリニック】

インフルエンザ 5名

B型 4名 A型 1名

[13週コメント修正]

感染性胃腸炎 迅速キットでロタ陽性

【一宮市 後藤小児科医院】

インフルエンザは5名でB型のみ

ウイルス性胃腸炎(何人かはロタ陽性)が増えてきており、例年より症状が重い印象です。

【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】

A群溶連菌 3名

インフルエンザA型3名、B型5名でした。

種痘様水痘あり、入院となりました。水痘ワクチン2回接種していました。

【犬山市 武内医院】

インフルエンザ 11名(すべてB型)

感染性胃腸炎が増加しています。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

インフルエンザB型のみ 15例

おちついてきました。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

インフルはB型が5件のみ

流行性耳下腺炎は8件と目立ちました。

【扶桑町 医療法人tsukushiつくしこどもクリニック】

インフルエンザB 9名

【北名古屋市 田中クリニック】

感染性胃腸炎散発です。

1歳女 9か月男 ロタ

1歳9か月女 ノロ

27歳男 17歳男 カンピロバクター

40歳女 病原大腸菌O18

4歳男 病原大腸菌O25

67歳男 病原大腸菌O27

インフルエンザB型 5名

【清須市 丹羽医院】

インフルエンザA型 2名

インフルエンザB型 6名

【津島市 医療法人参育会加藤医院】

インフルエンザA型 3名

インフルエンザB型 14名

【あま市 医療法人村上医院】

インフルエンザA型 2名

インフルエンザB型 8名

【弥富市 医療法人すずきこどもクリニック】

尾張東部地区

インフルエンザB型4名のみ

その他溶連菌感染症等

胃腸炎症状での受診が目立ちました。

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

インフルエンザA型 0例

インフルエンザB型 4例

【長久手市 医療法人水野内科】

fluも残りわずかです。

ムンプスはまだ多いです。

ロタが増えています。

【春日井市 春日井市民病院】

インフルエンザ6名と終息傾向

胃腸炎6名とやや目立ちます。

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

インフルエンザはすべてB型です。

【小牧市 志水こどもクリニック】

インフルエンザ 1名

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】

B型インフルエンザ 26人

【南知多町 医療法人大岩医院】

インフルエンザB 13名

インフルエンザA 1名

【半田市 医療法人林医院】

インフルエンザA 0例

インフルエンザB 9例

判定なし 1例

【武豊町 なかしまキッズクリニック】

溶連菌感染症 6人

【半田市 ひいらぎこどもクリニック】

インフルエンザB型のみ

【東海市 もしもしこどもクリニック】

インフルエンザB型 1名

インフルエンザA型 1名

ロタウイルス腸炎 3名

1歳男 アデノウイルス

【大府市 まえはらこどもクリニック】

インフルエンザはA型1名、B型6名

【東海市 こいで内科医院】

西三河地区

インフルエンザA(+) 4歳女 1名
インフルエンザB(+) 3か月男 1名
StrepA(+) 7歳女 1名
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
インフルB型 3名
【豊田市 すくすくこどもクリニック】
インフルエンザ陽性B型 14名
【豊田市 愛知県厚生農業協同組合連合会足助病院】
インフルエンザB 6人
アデノ(+) 1歳男 3歳女
【岡崎市 にいのみ小児科】
マイコプラズマ肺炎 女10歳 男10歳
インフルエンザB 18名
【岡崎市 花田こどもクリニック】
インフルエンザA型 2人 B型 3人
【岡崎市 医療法人永坂内科医院】
7歳男 マイコプラズマ肺炎
インフルエンザB型 9名
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
インフルエンザ計11名(A型2名 B型9名)
【岡崎市 粟屋医院】
インフルエンザB型 3名
【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】
インフルエンザ 全てB
【岡崎市 医療法人糸洲医院ともキッズクリニック】

インフルエンザ感染症減少傾向
溶連菌感染症が目立ちます。
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
インフルエンザ すべてB型 5名
【刈谷市 田和小児科医院】
インフルエンザA 5名
インフルエンザB 22名
【安城市 愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院】
インフルエンザB 2名
【安城市 医療法人鳥居医院】
インフルエンザA 1名
インフルエンザB 6名
ムンプス 4名
【知立市 宮谷クリニック】
インフルエンザ流行はなくなりましたが、B型
が散発的にあります。
【碧南市 永井小児クリニック】
インフルエンザB型 14名
【西尾市 西尾市民病院】
インフルエンザ 4名(全てB型)終息傾向
他に目立った感染症なし
【西尾市 山岸クリニック】

東三河地区

インフルエンザA型11名、B型25名、計36名
【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】
インフルエンザB型 3名
【豊橋市 おだかの医院】
年長児でロタ(+)の胃腸炎がみられます。
【豊橋市 あずまだこどもクリニック】
インフルエンザA型 4名 B型 10名
【豊橋市 医療法人山本内科】
インフルエンザA型3名、B型13名、計16名
【豊橋市 医療法人杉浦内科】

インフルエンザA型 2名 B型 15名
【豊川市 豊川市民病院】
インフルエンザA型 1人 B型 14人
病原性大腸菌O1 2歳女 1歳女
【豊川市 ささき小児科】
インフルエンザのうちB型
3歳女 7歳男 8歳男 10歳女 10歳男
【田原市 愛知県厚生農業協同組合連合会渥美病院】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2016年4月13日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun160215.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2016年14週報告数			2016年総計(1～14週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	15	4	4	185	44	49
豊田市				21	3	7
豊橋市				17	1	7
岡崎市	1	1		18	7	5
一宮	4	1		41	14	8
瀬戸	4	1	1	37	9	9
半田	2	1		13	4	3
春日井	3		1	35	6	8
豊川	2		1	11	3	3
津島				14	3	4
西尾	2			11	3	1
江南	2		1	10	1	1
新城				3		1
知多	2			21	4	7
清須				8	4	1
衣浦東部	1		1	26	4	3
合計	38	8	9	471	110	117

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	10歳	女	3/31	4/4	4/8	O26、VT1(+)
2	一宮	9歳	男	4/6	4/7	4/8	O157、VT1(+)

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

A型肝炎（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	春日井	68歳	女	無	国内

アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	42歳	男	腸管アメーバ症	不明	国内
2	名古屋市	30歳	女	腸管アメーバ症	経口	国内

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染経路	推定感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	一宮	76歳	男	以前からの保菌	国内	無
2	瀬戸	91歳	男	以前からの保菌	国内	無

劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	一宮	91歳	女	国内

後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	52歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
2	名古屋市	27歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
3	名古屋市	26歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内

侵襲性インフルエンザ菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	津島	81歳	女	不明	国内
2	衣浦東部	78歳	女	不明	国内

侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	衣浦東部	91歳	女	不明	国内

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	64歳	男	無症候	性的接触	国内
2	名古屋市	23歳	女	無症候	性的接触	国内
3	豊橋市	47歳	男	早期顕症	性的接触	国内

3月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況 [()は無症状病原体保有者再掲]

2015～2016年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数	2016年3月			2016年	2015年	
	愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>	
一類 (7) 発生報告なし	0	0	0	0	0	
二類 (7) 結核	102 (26)	67 (20)	169 (46)	434 (109)	1,683 (464)	
三類 (5) 細菌性赤痢 腸管出血性大腸菌感染症 腸チフス	0 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (1)	6 (1)	
	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	98 (21)	
	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	
四類 (44) E型肝炎 A型肝炎 コクシジオイデス症 ジカウイルス感染症* つつが虫病 デング熱 マラリア ライム病 レジオネラ症	0	0	0	0	8	
	1	0	1	1	10	
	0	0	0	0	1	
	2	0	2	2	-	
	0	0	0	0	2	
	1	0	1	4	17	
	0	0	0	0	2	
	0	0	0	0	1	
	3	1	4	12	99	
	五類 (22) アメーバ赤痢 ウイルス性肝炎 内訳 B型 その他 カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症 急性脳炎 クリプトスポリジウム症 クロイツフェルト・ヤコブ病 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 後天性免疫不全症候群 内訳 無症候性キャリア AIDS その他 ジアルジア症 侵襲性インフルエンザ菌感染症 侵襲性髄膜炎菌感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 水痘(入院例に限る。) 梅毒 内訳 無症候 早期顕症 晚期顕症 先天梅毒 播種性クリプトコックス症 破傷風 風しん	3	3	6	16	66
		1	0	1	3	15
1		0	1	2	10	
0		0	0	1	5	
4		2	6	20	80	
5		4	9	18	27	
0		0	0	0	1	
0		0	0	4	8	
2		0	2	7	16	
1		1	2	17	107	
0		1	1	12	60	
1		0	1	4	43	
0		0	0	1	4	
0		0	0	0	4	
2		1	3	9	15	
0		0	0	1	0	
14		2	16	43	161	
1		1	2	3	17	
8		11	19	42	122	
0		2	2	9	43	
7		9	16	31	71	
1		0	1	2	7	
0	0	0	0	1		
0	1	1	3	10		
0	0	0	1	8		
1	0	1	2	13		
総 計	151	95	246	647	2,599	

* 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2016年3月			2016年 累計		2015年 総計	
		愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体	
					愛知県全体 合計	愛知県全体 合計		
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	36	29	65	217	855	1,501
		女	37	24	61	153	646	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	6	11	17	53	224	601
		女	9	18	27	82	377	
	尖圭コンジローマ	男	7	11	18	47	217	328
		女	8	3	11	23	111	
淋菌感染症	男	17	27	44	113	489	565	
	女	7	3	10	23	76		
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		66	15	81	245	1,006	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		7	1	8	23	92	
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	0	1	

感染症の類型及び定義(感染症法)

2016年2月15日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症* (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症** (44疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (47疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

* 2015年1月21日に「中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)」及び「鳥インフルエンザ(H7N9)」が二類感染症に追加されました。

** 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。

